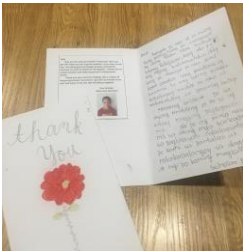




子どもサポーター ハンドブック

子どもプログラム 年間スケジュール



奨学生より、あなたに宛てた手書きのお手紙が届きます。

- 6月 新学期スタート、サポート開始
- 8月 奨学生からのお手紙をお届け
- 12月 クリスマスカードをお届け
- 5月 進級の可否をお知らせ
サポートを継続されるかどうかご確認
- 8月 奨学生についての報告書と、
本人からのお手紙をお届け

スケジュールは現地状況により変更となる場合があります。



【重要！】2日目以降のご支援継続や、支援終了の方法について

年1回、「奨学生の進級の可否」についてサポーターの皆さまにご案内を郵送します。支援を継続されるかどうかをお伺いしますので、必ずご確認下さい。年度途中での支援終了を希望される方は、裏表紙に記載の事務局までメールかお電話でお知らせください。

サポーター費の使い道：子どもたちへの3つのサポート

対象は
小中高



1. 就学サポート

通学に欠かせない物資（制服・カバン・靴・文房具など）を現物で支給しています。学校に支払う設備費やPTA会費等については、一部、現金で支給しています（返済不要）。



2. 権利を守る

奨学生には子どもの権利を理解するワークショップを、保護者や地域の大人には、子どもの権利を尊重した子育てや指導の仕方学ぶセミナーを開催して、子どもたちが安心して成長できる環境を整えています。



3. 生きる力を育む

土曜日や夏休みに「生きる力を育む補習授業」を実施。子どもたちが自分の気持ちを認識する力を高め、辛い時は大人にSOSを出す力や、困った時に話し合ったり助け合ったりする力を伸ばしています。



*子どもサポーターの皆さまからいただいたサポーター費（ご寄付）は、上記活動を行うための諸経費、クリスマスパーティーの開催費、それらの活動にかかるスタッフ人件費、日本国内での通信費、書類作成費として使わせていただいています。

奨学生はこうやって選んでいます



農漁村担当：リザ

家庭訪問では、保護者と子どもの両方と直接話し、暮らしぶりを把握します。きょうだいが多い、病気・障害のある家族がいるといった世帯は、支援の優先順位を高くしています。

【サポート対象となる子どもの条件】

1. 政府が定める州別貧困ライン以下の収入の家庭の子
世帯あたり月12,030ペソ以下の家庭
(1ペソ=2.5円/2022年10月)
2. アクセスの活動地域に在住している
3. 子どもと保護者に、学びたい、学ばせたいという意欲がある
4. 他のNGOや財団、行政等からの奨学金を受給していない
5. きょうだいがアクセスの奨学生ではない
6. アクセスが実施する補習授業、保護者会、セミナーなどの活動に参加できること

【募集と選考のプロセス】

1. 貼り紙や募集説明会の開催を通じて、募集開始をお知らせ
2. 希望する世帯は、申込書をアクセス現地事務所に提出
3. アクセスにて書類審査
4. アクセス現地スタッフが各家庭を訪問しての面談
5. より厳しい状況にある世帯から順にサポート対象に

★1997年以降、サポーターの皆さまのお力で **450人以上**が小学校を卒業！
国家公務員、教員、警備員といった安定した職に就く人たちも出てきています。

小学生と中高生、教育費の負担に大きな差

どんな
費用負担が
大きい？



教育啓発担当：ランス
フィリピンの公立学校では学費は無償です。でも、右のような教育費が負担となり、卒業に至らない子どもたちが少なくありません。

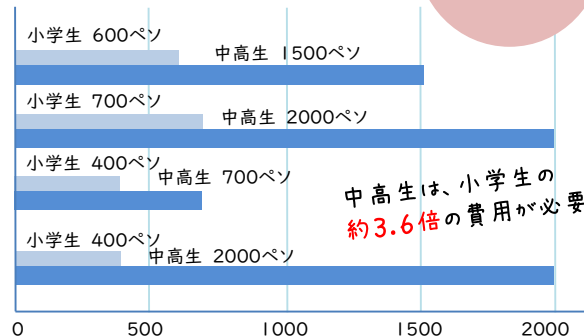
文具費

制服・靴・靴

学校に
払う諸費

追加教材、
実習費

1ペソ = 2.5円 (2022年10月)



- ✓ 学校給食は一部でしか実施されていません。学校周辺の食堂で昼食を買いお弁当を持参します。節約のため自宅に帰ることもあります。年齢が上がるにつれ、食費負担は大きくなっていきます。
- ✓ アクセスの子どもプログラムによる就学支援は、保護者とNGOの協力・分担によって成り立っています。アクセスが上記の費用を提供する一方で、保護者の皆さんには交通費や昼食費をご負担いただいています。
- ✓ ハイスクール生になると、家計を支えるために働きたいと中退する子が増え、また若年妊娠で中退を余儀なくされることもあります。中退を防ぐため、アクセスでは将来設計や家族計画について考えるためのサポートも実施します。

事情があって支援ができなくなる3つのケース

残念なことですが、奨学生の5~10%のが、わけあって年度中に支援終了となっています。サポートされている奨学生が支援終了になった場合は、アクセス事務局より背景説明のご連絡をさしあげます。

引越

- ✓ 仕事を求めて都市部へ
 - ✓ 親戚を頼って農村部へ
 - ✓ 両親の離婚
- といった理由で、毎年必ず何人かが引越していきます。

ルール
違反

アクセスが実施する補習授業・保護者会・セミナーなどへの欠席が続き、丁寧な声掛けやスタッフによる家庭訪問を重ねても改善しない場合は、やむを得ず支援終了としています。

中退

- ✓ 家計を支えるために就労
 - ✓ 学校での体罰やいじめ
 - ✓ 家庭での養育放棄
- などにより、通学を続けられなくなる子どもが、ごく少数ですが、ほぼ毎年出ています。

農漁村担当：アライサ

学校を連続して休む子どもがいた場合、集落の保護者が私たちに知らせてくれます。私たちは、そうした子の家庭を訪ね、その子やその家庭の抱えている困難を把握し、何とかして通学を再開できるようサポートしています。



【コラム】
支援に「条件」をつけるのはどうして？

<https://access-jp.org/archives/column/guardianstask>

日本とちょっと違う！フィリピンの教育制度

★義務教育（学費は無償）

幼稚園1年 小学校6年 中学校6年

*高等教育機関として、専門学校、職業訓練校、大学、大学院があります。公立の大学・職業訓練校の学費は無償ですが競争率が高く、誰もが気軽に学べるわけではありません。

- ✓ 6月に新学期スタート
- ✓ 3月が学期末
- ✓ 4~5月が夏休み
- ✓ 年間成績が75点を下回ると留年（出席率・提出物・テストの総合点）

小1でも留年アリ！

子どもたちを悩ませるフィリピンの教育課題

小学校入学率は96%、識字率98%と非常に高いものの、

- ✓ 6人に1人が小学校を卒業できず、
- ✓ 2人に1人がハイスクールを卒業できない

★学費以外の諸費が負担に

公立学校の学費は無償です。しかし、貧困家庭にとっては、下記のような諸費や学用品費、交通費などが負担となり、しばしば就学を阻みます。

自分も働かないと暮らしが厳しい…

教材が買えず、成績ダウンの末、留年

いじめや体罰が辛く学校に行けない



学校に支払う諸費の例(年)	
PTA会費	52ペソ
赤十字の学校保険	50ペソ
ボーイ・ガールスカウト参加費	50ペソ
スポーツ活動費	50ペソ
施設修繕費	50ペソ
学校通信費	60ペソ
電気代	50ペソ
清掃費	20ペソ
子どもの成長のため	35ペソ
維持費	20ペソ
結核予防キャンペーン	5ペソ
合計	442ペソ

(1ペソ=2.5円 2022年10月時点)

トンド地区奨学生の保護者

食費が足りず、飲食店の残飯を水で洗い、調理しなおして食べる場合があります。不衛生だとわかっているけど、選択肢がありません。

農漁村担当:ライカ

かつては小学校卒で工場に就職してきました。就学率が上がった今、ほとんどの求人条件は高卒以上となっています。

都市スラム担当:アンドレア

おこづかい(昼食代)をもらえず、昼食の輪に入れられないことも。恥ずかしさや悔しさが、不登校のきっかけになる子もいます。

奨学生の一日常

農漁村ペレーズ地区ベア君の場合

- 6:00 起床・水汲み・朝ごはん
- 7:00 トライシクル(三輪バイク)で登校
- 7:30 授業開始
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 授業再開
- 16:00 下校
- 17:00 宿題をしたり友達と遊ぶ
- 18:00 夕食
- 19:00 テレビを見て団らん
- 20:30 血洗い
- 21:00 就寝



朝ごはん

主な科目は…

- 国語 ○算数・数学 ○英語 ○道徳
- 社会 ○理科 ○音楽・体育・芸術



真ん中: 白米と、おかず一品のお弁当

右: 井戸で汲んできた水を使い、テキパキと血洗い

*トンド地区では生徒数が多く教室が足りないため、授業が二部制となっています。生徒は「午前クラス 7~12時」「午後クラス 12~17時」のいずれかが決まった時間帯に通学します。



学校までは徒歩かトライシクルで

オートバイの横に屋根付サイドカーを取り付けた三輪タクシー「トライシクル」。庶民の足として生活に欠かせない乗り物で、都市でも農村でも、通学によく使われています。

運賃は距離によって設定されていて、学割もあり。ペレーズ地区ビリヤマンサノスル村から町の中心部まで、学生は片道20ペソ(約50円)。ガソリン代の高騰もあり、運賃は値上がりしています。

子どもたちに人気のあそびは？放課後や休日の過ごし方



- ✓ おにごっこ、ゴム飛び、コマ、めんこは、フィリピンでも人気の遊びです。
- ✓ 農漁村ペレーズでは、海水浴、木登り、貝殻や植物を使った遊びもよく見られます。
- ✓ 都市スラムのトンドでは、ゴミ捨て場からおもちゃを捨てきたり、廃材からおもちゃを作ったりします。
- ✓ この10年で安価なネットショップやスマホが普及。わずかなお小遣いをやりくりして、ネットゲームやSNSを楽しむ子が増えてきています。
- ✓ 水汲み、洗濯、炊飯、掃除、血洗いは子どもたちがよく手伝う家事です。

左:海辺で/右:ネットショップでゲーム中



フィリピンって こんな国

面積 : 30万平方Km(日本の約80%)
 人口 : 1.98億人 (2015年)
 平均寿命 : 男性66.2歳、女性72.6歳
 宗教 : カトリック83%
 その他キリスト教10%
 イスラム教5%

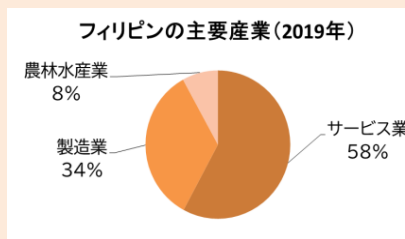
言語 : 公用語はフィリピン語と英語
 100以上の言語があるとされています
 国民性 : 笑顔を大切に／信仰心が深い
 家族や親戚との時間をとても重んじる
 「今を楽しむ」のが得意
 気候 : 一年の大半は暑く湿度が高い
 (首都マニラが最も暑い4月の最高気温は38度、高地バギオの1月の最高気温は23度)

平均月収 : 15,200ペソ (2020年)
 絶対的貧困率 : 23.7%/2,614万人
 (月12,082ペソ以下/2021年)
 海外出稼 : 年間220万人が出国
 人口の1割が海外在住



面積は、日本から北海道を除いたくらい。アジアで一番、キリスト教徒が多い国です。

1ペソ = 2.5円 (2022年10月)



奨学生が暮らす町① 農漁村 ペレーズ地区

首都マニラの南東に位置する小さな島、アラバット島。全長40kmの細長いその島の、北3分の1がペレーズ地区です。島の北西部にある町部には、港・学校・役場・教会と民家が集まっています。島の北端から北東側には、ココナッツ林の合間に点々と集落があります。

地区名 : ケソン州アラバット島ペレーズ町
 14の村で構成される (アクセスは8村で子どもプログラムを実施中)
 人口 : 12,767人 (2020年)
 保健医療 : 町内に病院はない
 各村に、ボランティア保健師が応急処置をしてくれる保健センターあり
 教育施設 : 公立小学校7校、公立ハイスクール (中高一貫校) 1校、私立学校なし



- ✓ 行商や農作業で働く子どもたち
家計を支えるため、魚やパンを売り歩いたり、木材運搬、農作業・漁具準備の手伝いなどをして働く子がいます。
- ✓ 病気・ケガをすると、生活が一変
自然ゆたかで、スラムに比べるとずっと暮らしやすい農漁村ですが、得られる現金収入は都市よりずっとすくないのが現実です。家族の誰かが病気やケガをしたことがきっかけで家計が悪化し、就学できなくなることがあります。



奨学生が暮らす町② 都市スラム トンド地区

首都マニラ市のマニラ湾沿いにある、東南アジア最大級の都市スラム。マニラ北港や繁華街で働く低所得者層が多く暮らしています。北部には「スモーキーマウンテン」の名で知られる巨大なゴミ捨て場の跡地があります。地区内で最も経済的に苦しい状況にあるのは、ゴミの中からリサイクル可能な物を拾い集めて廃品回収業者に売って収入を得る人々、日雇いの建設労働者、露天商、洗濯婦といった仕事に就く人々です。

地区名 : マニラ首都圏マニラ市トンド地区
 267の区で構成される (アクセスは2区で子どもプログラムを実施中)
 人口 : 約654,220人 (2020年)
 保健医療 : 近隣に病院やヘルスセンターは複数あるが、人口に対して十分ではない
 教育施設 : 公立小学校26校、公立中高11校、私立学校あり (数は不明)

- ✓ 5才からゴミ拾いを始める子ども
食費や教育費の工面が難しい家庭が多く、右の写真のように子どもの頃からゴミ拾いなどをして家計を支える子どもたちが少なくありません。
- ✓ ギャングの活動が活発
家計が苦しく、家族関係が不安定な家庭の子どもたちは、居場所を求めてギャンググループに所属したり、タバコ・酒・ドラッグなどでしんどさを紛らわしたりする傾向にあります。





メッセージや写真でも、 子どもたちを応援してください！

- ✓ サポーターさんからの手紙や写真は、子どもたちの宝物！ おうちに飾って日々ながめたり、友だちに自慢したりするほどです。
- ✓ 「日本に応援してくれる人がいるから、辛い時も踏ん張れる」と話す保護者もいます。

手紙や写真の送り方

【郵送の場合】

- 手紙や写真には、送り先の奨学生の名前を必ず記入してください。
- 本ページ下部に記載のアクセス事務所までお送りください。
- 年間を通して、いつでも受け付けます。直近3か月分をまとめて、フィリピンに郵送します。

【メッセージ送信フォームの場合】

- 便箋・封筒・切手などを用意する必要がなく、スマホやパソコンから気軽にメッセージや写真を送ることができます。
- 下記のURLまたはQRコードから送信フォームにアクセスしてください。



<https://bit.ly/3eCqyaY>

- お名前、メールアドレス、奨学生名、メッセージなどを記入して送信してください。
- 写真も添付することができます。
- 月末までに届いた分を、翌月の中旬までにフィリピンにお届けします。郵送より早くお届けできます。

メッセージの文例



メリークリスマス！ 家族と楽しいクリスマスをお過ごしくださいね。来年もたくさん勉強して、たくさん遊んでね。楽しい一年になるといいね。

日曜日は〇〇へ旅行に行きました。そのときの写真を同封します。お休みの日は何をして過ごしていますか？

フィリピンに大きな台風がやってきたとテレビで見ました。大丈夫でしたか？あなたが無事であることを祈っています。

- ✓ 日本語、英語、フィリピン語のいずれかでお書き下さい。日本語・英語のものは、アクセスがフィリピン語に翻訳してお届けします。
- ✓ 手紙には、サポーターの方のご連絡先は記載されないようお願いいたします。



【お問い合わせ／手紙などの送り先】

認定NPO法人アクセス 子どもプログラム係

〒612-0029 京都市伏見区深草西浦町8-85-4

TEL 075-643-7232 Email office@access-jp.org